

機関リポジトリ担当者の人材育成

広島大学・大阪大学・千葉大学・
島根大学・浜松医科大学・奈良大学

広島大学図書館 松本 侑子
ymatsu@hiroshima-u.ac.jp

2013.6.6 平成24年度CSI委託事業報告会 コミュニティ(領域3)

お話しすること

1. プロジェクトの背景
2. 第3期の活動概要
3. 成果
4. まとめ
5. 課題と展望
6. おわりに

1. プロジェクトの背景

1. プロジェクトの背景

「機関リポジトリ地域
コミュニティの活性化」
(ShaRe2)

- ・基礎的な研修
- ・主担当: 広島大学
- ・地域に展開

「機関リポジトリ担当
者の人材育成」

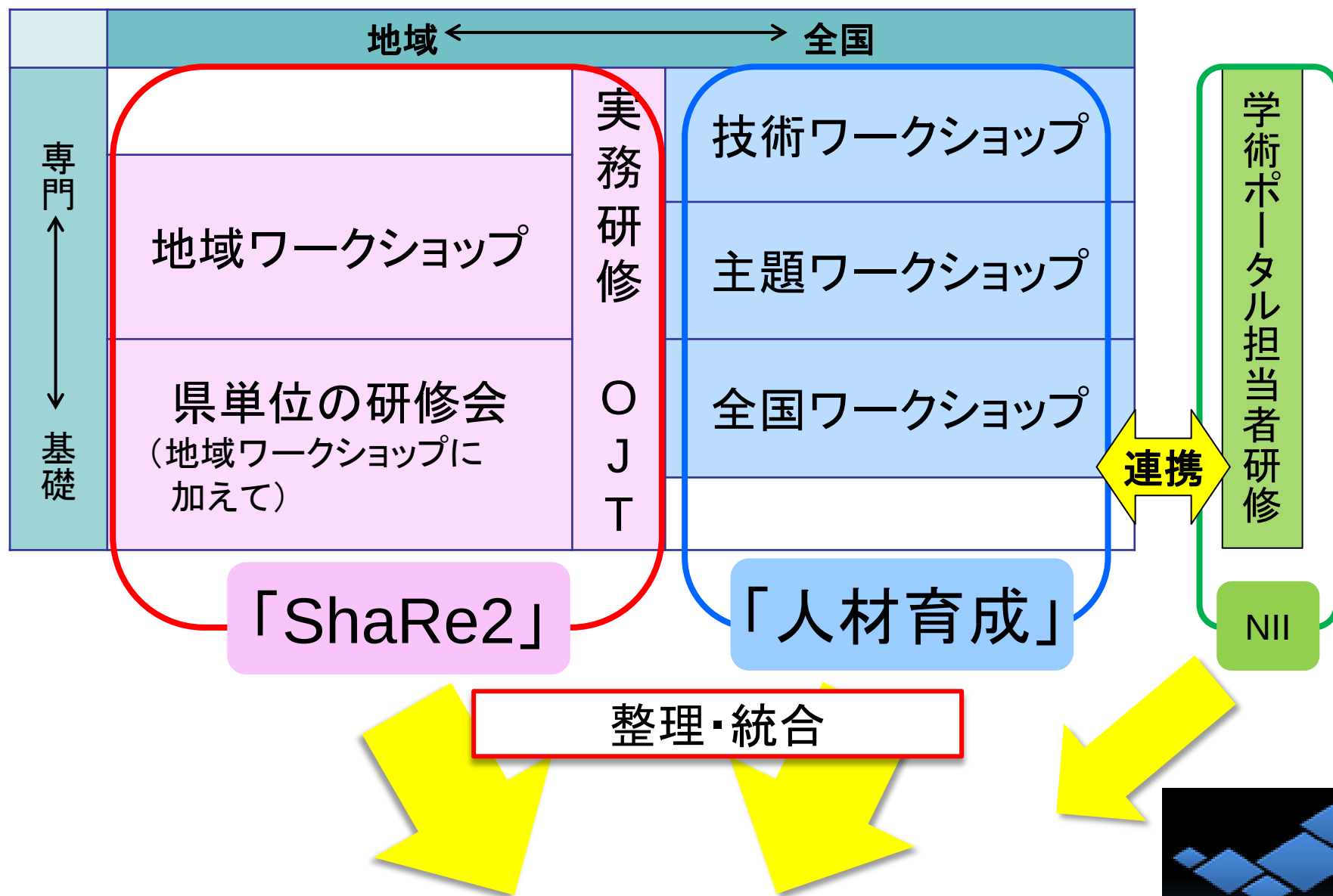
- ・専門的な研修
- ・主担当: 大阪大学
- ・全国に展開

「機関リポジトリ担当
者の人材育成」

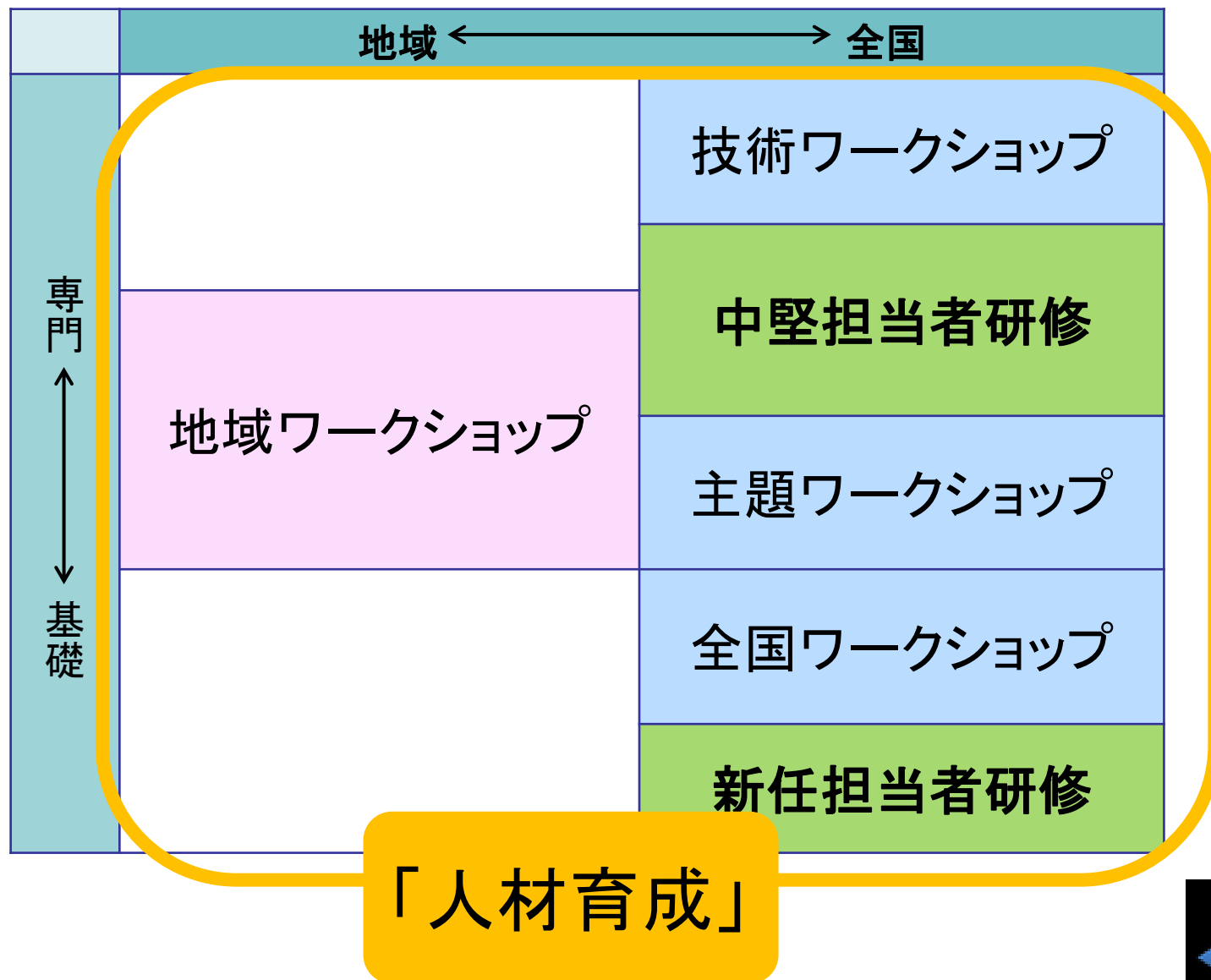
- ・研修事業全般
- ・主担当: 広島大学

1. プロジェクトの背景

平成22年度



平成23年度以降



2. 第3期の活動概要

平成22年度 主担当機関:大阪大学
 分担機関: 千葉大学
 連携機関: 広島大学, 島根大学,
 浜松医科大学, 奈良大学

平成23, 24年度 主担当機関: 広島大学
 分担機関: 大阪大学
 千葉大学

	H22年度		H23年度		H24年度	
イベント	開催回数	延べ参加者数	開催回数	延べ参加者数	開催回数	延べ参加者数
新任担当者研修	—	—	3	89	3	73
中堅担当者研修	—	—	1	22	1	12
全国ワークショップ	1	207	—	—	1	104
地域ワークショップ (近畿／東北／中国・四国)	—	—	—	—	3	96
主題ワークショップ (医学・看護学／芸術・音楽・体育)	2	80	—	—	1	113
技術ワークショップ	4	166	—	—	—	—
技術ワークショップ(※招待制)	1	8	1	7	—	—
講師派遣	1	20	7	249	—	—
IR研修検討会議への参加	—	—	1	2(広島大学)	—	—

3. 成果

3. 成果

1. DRF 機関リポジトリ
新任担当者研修

2. DRF 機関リポジトリ
中堅担当者研修

8. IR研修
検討会議

3. DRF 全国
ワークショップ

7. 講師派遣

4. DRF 地域
ワークショップ

6. DRF 技術
ワークショップ

5. DRF 主題
ワークショップ



※DRF: デジタルリポジトリ連合
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/>

3. 成果

DRF 機関リポジトリ新任担当者研修

平成23年度，平成24年度

【内容】

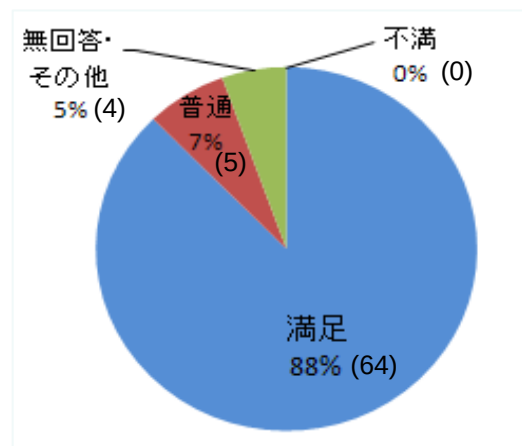
- ・オープンアクセス，機関リポジトリに関する講義
- ・著作権実習
- ・アイテム登録実習
- ・広報，コンテンツ収集講義
- ・模擬説明会（グループ討議）

※平成22年度までのNII 学術ポータル担当者研修を引き継ぎ

初回開催時には**応募殺到！**
年2回から**年3回開催へ！**

＜研修全体の満足度＞

DRF平成24年度機関リポジトリ新任担当者研修アンケート結果（抜粋）



回答数73（ ）内は回答数

3. 成果

DRF 機関リポジトリ新任担当者研修

リポジトリ構築を始めるにあたって、参考になることばかりで、大変有意義な研修会だった。



リポジトリ担当者として必須の基礎知識を確認できた。他大学の担当の方と知り合えたのも大きな収穫。



マニュアルもなく、疑問や不安を抱えながら業務にあたっていたが、今回、基本的なことが学べて安心した。



3. 成果

DRF 機関リポジトリ中堅担当者研修

平成23年度, 平成24年度

【内容】

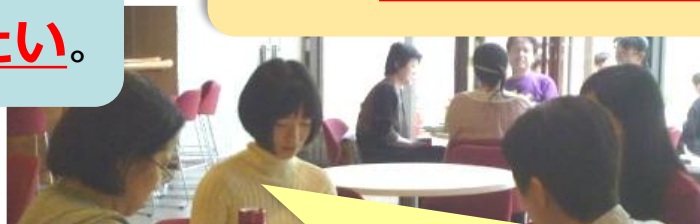
- ・機関リポジトリの現状と諸問題(講義, 討議)
- ・学術コミュニケーションに関する諸問題(講義, 討議)
- ・世界の情報流通の歴史, 動向(講義, 討議)
- ・コミュニケーションスキル(H24)

研修の最後には各自の目標を宣言！
H23年度受講生には翌年度追跡調査



課題に苦しんだが, 始まってみるととても楽しく充実した研修だった。

とてもぜいたくな研修だった。
次の担当者を送り出してあげたい。



盛りだくさんの内容だったが, 受け身の研修ではなかったので集中して受講できた。

3. 成果

DRF 全国ワークショップ

H22年度: 第7回DRF全国ワークショップ

H24年度: 第9回DRF全国ワークショップ(第3セッション部分)

【内容】

- ・国内, 海外の事例報告
- ・全国からの参加者と情報共有, 意見交換

全国レベルでの情報共有



3. 成果

DRF 地域ワークショップ

H24年度:近畿地区, 東北地区, 中国・四国地区 各1回

【内容】

- ・地域に特化した情報共有,
意見交換

人的ネットワーク形成

コミュニティ活性化



3. 成果

DRF 主題ワークショップ

医学・看護学分野（H22, H24年度 各1回）

芸術・音楽・体育分野（H22年度 1回）

【内容】

- ・主題に特化した情報共有,
意見交換

人的ネットワーク形成

コミュニティ活性化



医学分野に特化 していて
非常に参考になった。

3. 成果

DRF 技術ワークショップ

平成22年度(初級者向け)

【内容】

- ・機関リポジトリ運営に必要なシステム技術の講演, 実習



平成22, 23年度(上級者向け)

【内容】

- ・Dspaceのインストールマニュアル作成
- ・ツールの開発(URLのリダイレクト, メタデータ変換用卓上ハーベスターなど)

成果物

H22 : <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRFtech-Karuizawa2010>

H23: <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRFtech-Karuizawa2011>

楽になる部分もあったので, テーマ設定と分担設計をしっかりとやれば, **もっと大きなこと**もできるような気がする。

3. 成果

講師派遣

【内容】

- ・各種ワークショップ等に講師を派遣

合計8機関に12名派遣！
イベント参加者数延べ269名！

年度	内容	会場	日程	派遣講師数	参加者数
H22	オープンアクセスカフェ	名古屋工業大学	1/13	1名	20名
H23	オープンアクセス講演会 at NAIST	奈良先端科学技術大学院大学	10/31	1名	78名
	ほか6件				



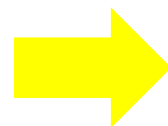
3. 成果

IR研修検討会議

平成24年1月19日～20日 会場: 北海道大学

【内容】

- ・DRF(デジタルリポジトリ連合)と英国RSP(Repositories Support Project)の間で情報交換, 意見交換



平成24年度の研修内容見直し
中堅担当者研修で
コミュニケーションスキル
実践講座導入! (外部講師)
グループ討議に重点!



- ・人材育成における知見と経験の共有
- ・IR構築をテーマとした集会の共催, 相互参加

平成24年3月1日, DRF, RSP, 英国研究リポジトリ委員会(UKCoRR)の三者間で国際連携に関する了解覚書(Memorandum of Understanding)を締結

4. まとめ

4. まとめ

人的ネットワーク形成

DRF 機関
中堅担当者研修

研修検討会議

DRF 全国
ワークショップ

講師派遣

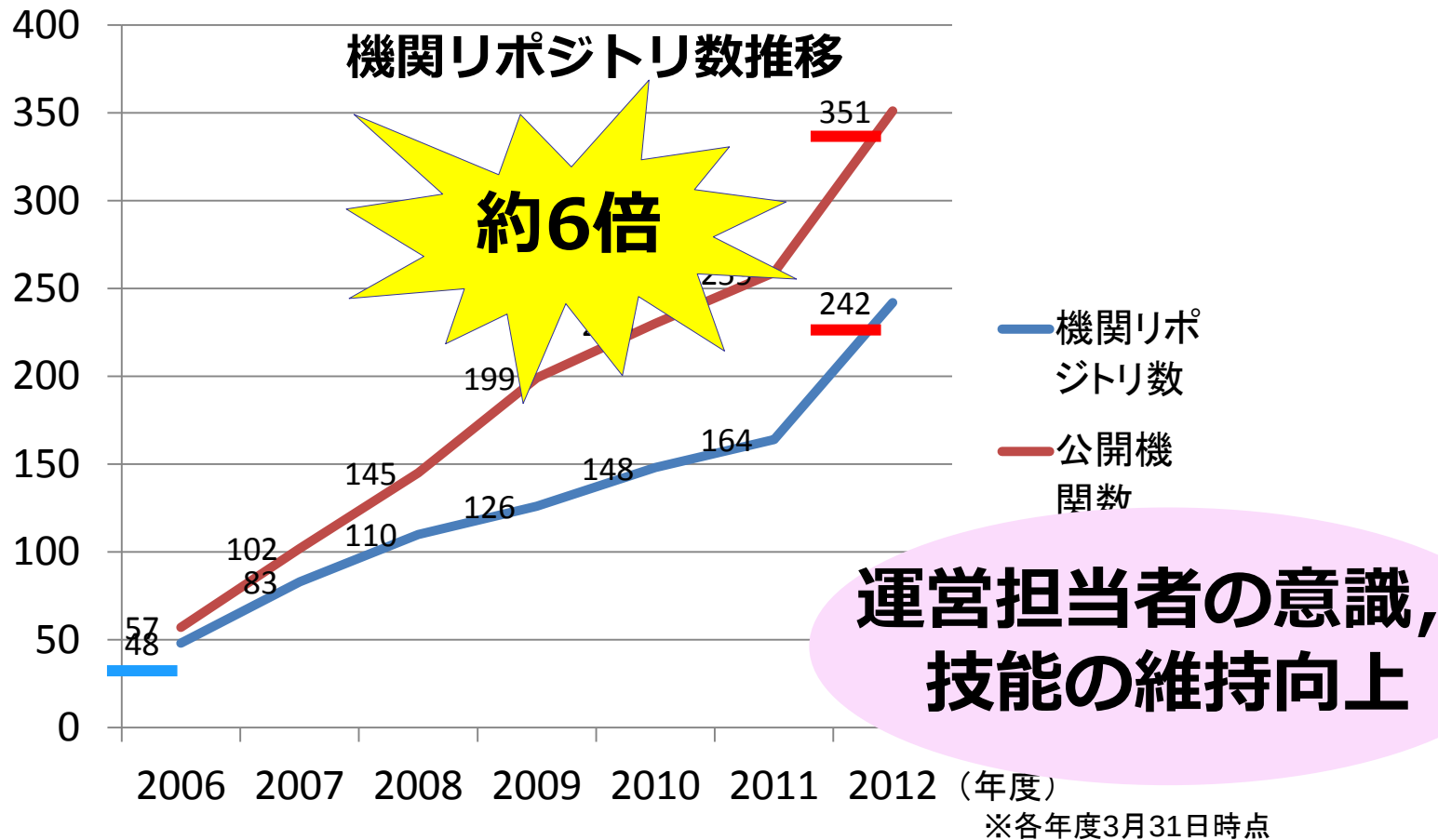
知識・技術の習得

情報共有

DRF 主題
ワークショップ

5. 課題と展望

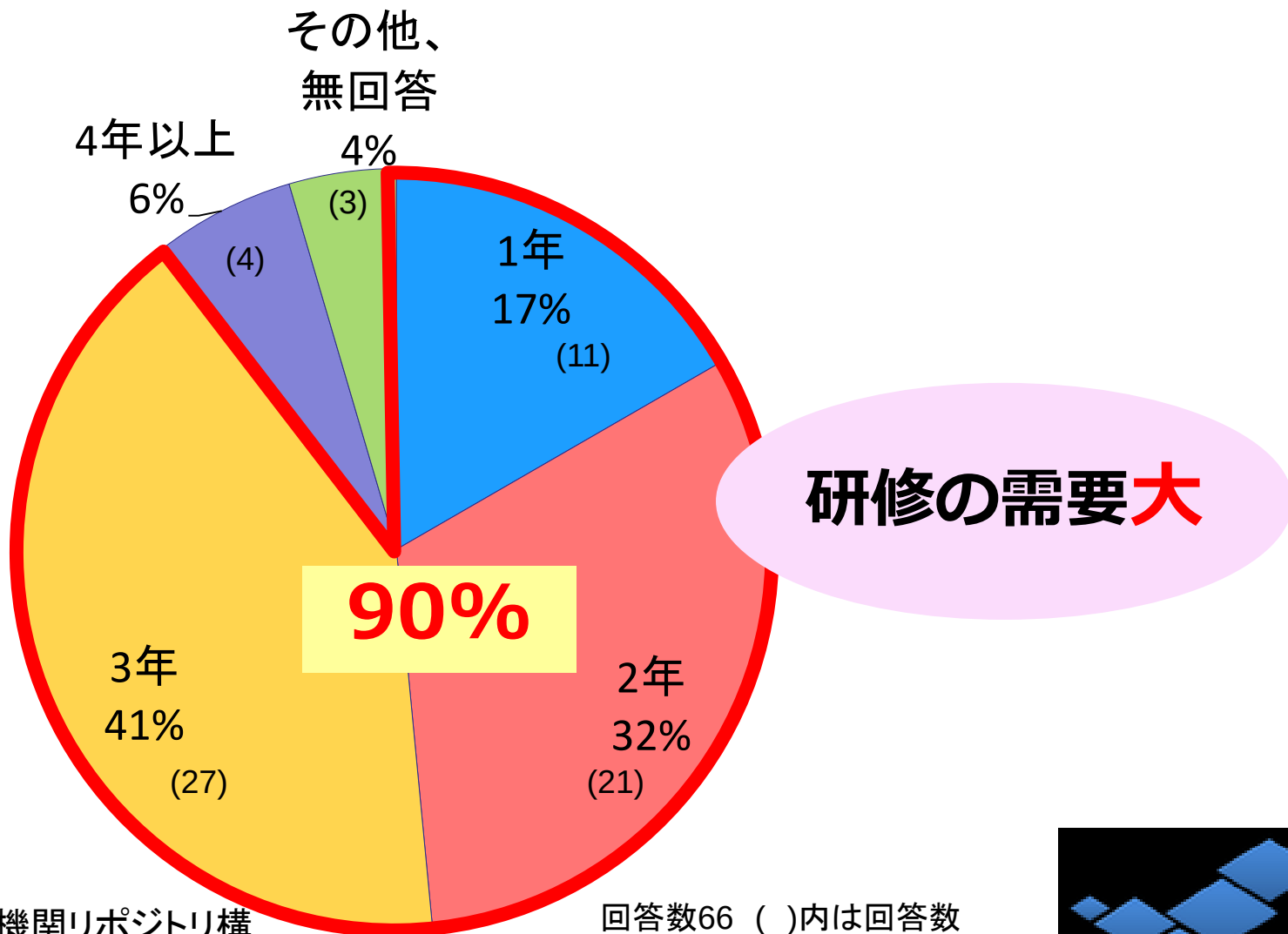
5. 課題と展望



National Institute of Informatics. “機関リポジトリ統計: 平成25年度”. 学術機関リポジトリ構築連携支援事業. 2013-05-02 .
http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/irp_2013_statistic.html, (参照 2013-05-23).

5. 課題と展望

今後おおむね何年ごとに、DRF機関リポジトリ
新任担当者研修を受講したいですか？



平成24年度DRF機関リポジトリ構
築・運用状況調査アンケートより

回答数66 ()内は回答数

5. 課題と展望

課題

- ・ JAIRO Cloudシステム講習会との区別，連携
- ・ 流動的な人事制度の中での高度な専門性，横断的活動の維持

今後

- ・ 研修企画運営の実績を活かして人材育成推進
- ・ 平成25年度：関連機関と調整して決定

6. おわりに

6. おわりに

- ・人材育成事業は継続的に、レベルに合わせて段階的に行うべき
- ・流動的人事制度の中での課題
 - 基礎的研修→後継者を育てる
 - 専門的研修→高度な専門性を維持
- ・フィードバックの重要性
 - 運営側 →より良い研修の提供
 - 受講者側→レベルアップ

長い目で継続

機関リポジトリの発展
学術情報流通の発展

